
令和7年4月保育所等入所待機児童数について

4月1日現在の待機児童数（国基準）は、昨年同時期から、3人増加し、5人となりました。この5人は全て、第四中学校区の1歳児クラスとなっております。

待機児童数が増加した主な要因は、第四中学校区の1歳児クラスの申込人数が、昨年度に比べて倍以上に増加したこと、および同中学校区の保育施設において、弾力化（※1）の受入枠が減少したことによるものです。

1. 令和7年度および令和6年度の不承諾者数と待機児童数

	令和7年4月	令和6年4月	増減
申込者数	866人	888人	△22人
承諾者数	711人	745人	△34人
不承諾者数	155人	143人	12人
待機児童数	5人	2人	3人

2. 令和7年度における待機児童数の増加の要因

（1）第四中学校区の1歳児クラスにおける入所申込者数の増加

第四中学校区における1歳児クラスの入所申込者について、令和6年4月は30名でしたが、令和7年4月は61名でした。

（2）弾力化の受入枠の減少

従来、1歳児クラスについては、弾力化を行い、利用定員以上の受入れをいただいておりますが、当初見込んでいた弾力化の受入枠が想定を下回ることとなりました。

（※1）弾力化とは・・・待機児童解消等のため、必要面積及び職員配置基準を下回らない範囲内で、定員を超えて入所できるようにする制度です。